

e-Japan戦略の目標の年を迎え、世界最先端のIT国家実現へのラストスパートへ

政府は、平成13年1月に高度情報通信ネットワーク社会推進本部（IT戦略本部）を設置し、「我が国が5年以内に世界最先端のIT国家になること」を目指したe-Japan戦略を策定した。同戦略に基づきIT基盤の整備に積極的に取り組んできた結果、「高速インターネットを3,000万世帯に、超高速インターネットを1,000万世帯に」という利用環境整備の目標が達成されるとともに、電子商取引や電子政府関連の制度的な基盤整備も進んだ。

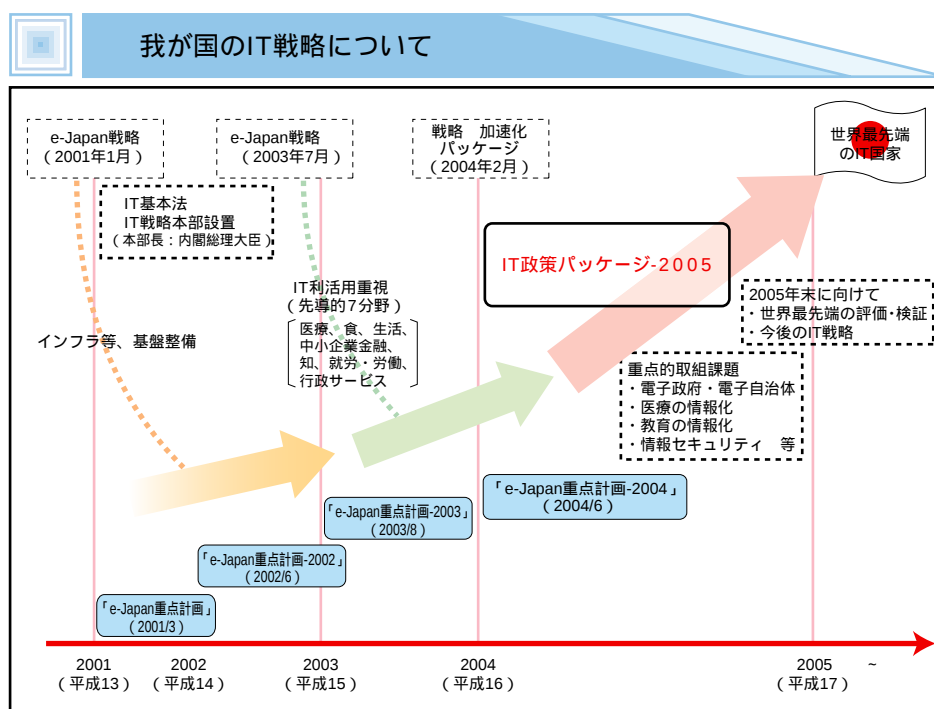
こうしたことから、IT戦略本部では、戦略の第一期の目標は達成されつつあるとの認識の下、第二期のIT利活用の拡大へと戦略を進化させるため、平成15年7月にe-Japan戦略を策定した。e-Japan戦略では、「元気・安心・感動・便利」社会を実現するため、医療、食、行政サービスなど国民に身近で重要な7つの分野における先導的取組を推進することとしている。

e-Japan戦略及び戦略を確実に遂行するため、IT戦略本部では平成13年以降毎年具体的な施策とその担当

府省及び実施年限を明記したe-Japan重点計画を策定してきており、平成16年6月にはe-Japan重点計画-2004が策定された。e-Japan重点計画-2004は、2005（平成17）年の目標達成を確実にする重点計画（ラストプログラム）と2006（平成18）年以降の布石を打つ重点計画（プレプログラム）の2つの位置付けを有している。また、平成17年はe-Japan戦略の目標達成の年であり、これまでの取組を緩めることなく、利用者の視点でラストスパートをかけるため、平成17年2月、IT戦略本部は、行政サービス、医療、教育など国民に身近な分野の取組を中心としたIT政策パッケージ-2005を策定した。

さらに、平成15年12月、e-Japan戦略に関する政府の取組状況の評価等を行うため、IT戦略本部の下に評価専門調査会が設置された。平成17年4月には、評価専門調査会において、重点分野の評価や戦略の成果を測る指標等を内容とする第四次中間報告書が取りまとめられた。

図表 IT戦略本部における取組



2

u-Japan政策

2010年にユビキタスネット社会を実現するための政策

総務省では、u-Japan（u-Japanについては第1章第1節1を参照）の実現に向けた方策や課題等を検討するため、平成16年3月に「ユビキタスネット社会の実現に向けた政策懇談会」を設置し、同年12月に「u-Japan政策」を取りまとめた。

このu-Japan政策の基本思想は、以下の3つの基本軸によっている。

第一は「ユビキタスネットワークの整備」である。これまでのインフラ整備は、ナローバンドからDSL、CATV、光ファイバ等のブロードバンドへの発展という有線を中心としたものであったが、u-Japan政策では有線・無線を意識することなく扱うことができるシームレスなユビキタスネットワークを目指している。

第二は「ICT利活用の高度化」である。これまでのICT利活用は情報化に先鞭をつけ、また情報化の遅れ

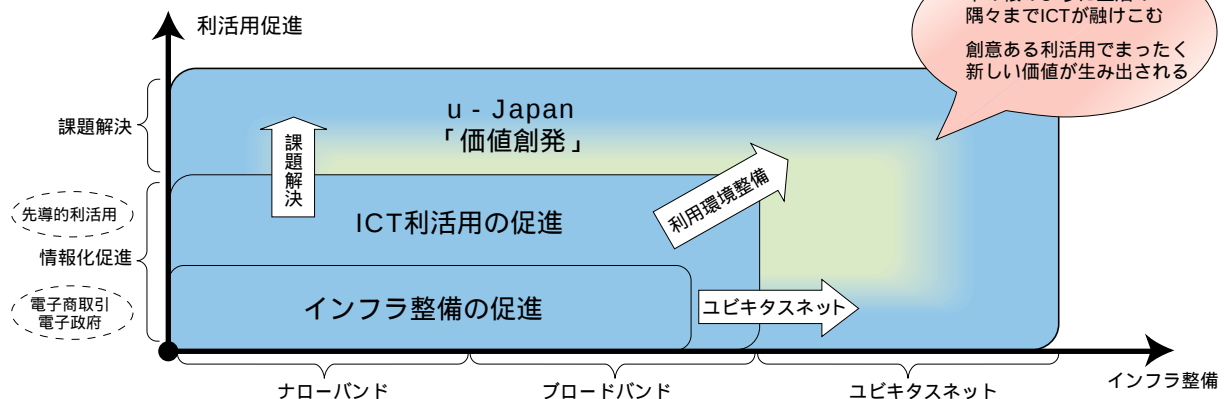
ている分野を後押しすることを目的とする傾向が強かったが、u-Japan政策では、ICTを利活用することにより、社会の課題を解決することに主眼を置いている。

第三は「ICT利用環境の整備」である。ICTが生活の隅々にまで普及浸透することによって、サイバー社会で起こりつつある不安や障害が高まるとともに、現時点では想定していない課題が新たに生じる可能性もあり、こうした問題を未然に解消するため、利用環境面での抜本的な対策を盛り込んでいる（図表、 ）

そして、これら3つの基本軸に沿って政策を展開することにより、ICTが草の根のように生活の隅々にまで融け込み、創意ある利活用を通じて新しい価値が次々に湧き上がる、「価値創発」型の社会の実現を目指している。

図表 u-Japan政策の基本思想

「u-Japan政策」の3つの基本軸



図表 u-Japan政策の主な内容

ユビキタスネットワーク整備

- ・有線・無線のシームレスなアクセス環境の整備
- ・ブロードバンド基盤の全国的整備
- ・実物系ネットワークの確立
- ・ネットワークコラボレーションの基盤整備

ICT利活用の高度化

- ・ICTによる先行的社会システム改革
- ・コンテンツの創造・流通・利用促進
- ・ユニバーサルデザインの導入促進
- ・ICT人材活用

利用環境整備

- ・「影」に関する課題の整理・明確化
- ・ICT安心・安全21戦略の推進
- ・顕在化しつつある重要な課題への対応
- ・ユビキタスネット社会憲章の制定